

**脳波を測定することで感情の変化を2次元で表示させる
Valence-Arousal Analyzer を新たに開発。
5月8日-10日 Japan IT Week にて発表いたします。**

株式会社電通サイエンスジャム（東京都港区／代表取締役社長：神谷俊隆、以下 DSJ）は、脳波を測定することで感情の変化を2次元上に表示させる感性把握システム「Valence-Arousal Analyzer（略称 VA Analyzer）」を新たに開発しました。明日から東京ビッグサイトで開催される Japan IT Week にて発表し正式リリースいたします。

ここ数年、脳波計測による感情把握は可視化ツールにより分析が可能となっており、DSJでも感性可視化ツールである「感性アナライザ」を多くの企業の R&D 部門等にご提供し、ご活用いただいております。一方で、解析するには専門家の知見やノウハウが必要なこともあり、より直感的に人の気持ちの変化を把握したいというニーズもありました。そこで人の気持ちの揺れ動きを2次元上でマッピングでき、容易に誰でも感情比較ができるツールとして「Valence-Arousal Analyzer」を開発いたしました。

DSJ は「サイエンスにアイデアを付与し新しいビジネスを創造する」を事業方針として掲げ、様々なテクノロジーを活用し消費者の感性や気持ちの移り変わりを定量化し、企業の R&D やマーケティング活動にフィードバックするサービスを今後も展開してまいります。



DENTSU SCIENCEJAM

【Valence-Arousal Analyzer とは】

Valence-Arousal Analyzer は心理学者 James A Russell が 1980 年に「A circumplex model of affect.」として提唱した、感情の次元モデルの「Valence」と「Arousal」2軸の値を脳波から推定し、感情の変化を二次元で表す事ができます。

Russell のモデルはポジティブ-ネガティブを示す「Valence」と、活性 - 不活性を示す「Arousal」という2軸から構成されており、その2次元上に喜怒哀楽に関わる様々な感情がプロットされています。

製品サイト：<https://www.dentsusciencejam.com/VAA/>

【フィルタリングと機械学習】

脳波には瞬きや体動といった“ノイズ”が混入します。Valence-Arousal Analyzer は独自のフィルタリング技術で、これらのノイズをリアルタイムで除去しています。また、Valence-Arousal Analyzer の感情推定技術は、蓄積された大規模な脳波データと、機械学習によって実現されています。

【単極・ポータブルという快適さ】

脳波計を頭に装着することで、被験者に不快感を与える場合があります。Valence-Arousal Analyzer は単極型脳波計を用いることで、被験者への負担を最小限に抑えています。また、タブレット上にソフトウェアを独立実装することにより、いつでもどこでも簡単に脳波を用いた感情評価が可能です。

【Japan IT Week(春)に出展】

2019年5月8日～10日に東京ビッグサイトで開催される「Japan IT Week(春)」にてValence-Arousal Analyzerを初お披露目いたします。また、感情に合わせて光の色が変化する「EMOLIGHT」も展示いたします。是非会場にお越しいただき、ご体験ください。

場所：東京ビッグサイトホール西/コマ番号：西 20-56



DENTSU SCIENCEJAM

■会社概要

社名：株式会社電通サイエンスジャム (Dentsu Science Jam Inc.)

所在地：東京都港区赤坂4丁目2番28 TRES 赤坂102

設立：2013年8月1日

代表者：代表取締役社長 神谷俊隆

<http://www.dentsusciencejam.com/>

■本リリースに関するお問い合わせは

株式会社電通サイエンスジャム 担当：木幡・飯田・平林

E-mail: info@dentsusciencejam.com Tel: 03-6435-5316